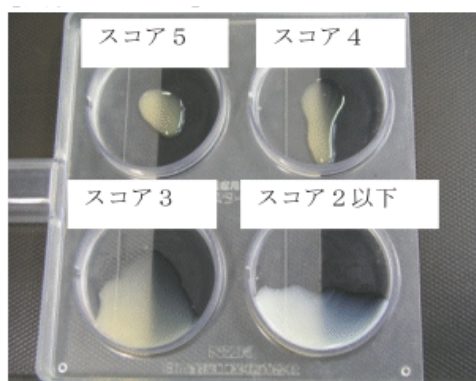


## 分娩前7日以内の乳腺分泌液の粘ちゅう性が 高いと分娩後に乳房炎を発症しにくい

安全・安心で高品質なおいしい牛乳が消費者に望まれている中、生産現場では乳房炎が多発し、適切な飼養管理を行っても根絶しきれない状況にあります。そこで山形県農業総合研究センター畜産試験場では、乳房炎を低減させるため、乾乳期における乳腺分泌液の性状と免疫能の関連を把握し、それらを指標とした新たな対応技術を検討しました。

### ☆ 技術の概要

1. 乳腺分泌液の粘ちゅう性を判定する基準としてスコアを作成しました（図1）。分娩前7日以内の乳腺分泌液の粘ちゅう性が高い（粘ちゅう性スコア3以上）と分娩後に乳房炎を発症しにくいことが分かりました。ただし分娩前8日以上になると発症する可能性が高くなります（表1）。
2. 分娩前7日以内の乳腺分泌液の粘ちゅう性が低い（粘ちゅう性スコア2以下）場合には、乳房炎既往歴のない分房は分娩後の乳房炎発症率が低いが、既往歴のある分房では発症率が高くなります（表2）。



スコア5：硬い水飴状で、転倒しても流れない。  
 スコア4：柔らかい水飴状で、転倒すると流れる。  
 スコア3：ゆるいクリーム上で、振とう攪拌が可能。  
 スコア2：濃厚な初乳状で、1と3の間。  
 スコア1：普通の牛乳状で、傾けるとすぐ流下する。

図1 粘稠性スコア

表1 粘ちゅう性スコアと分娩後の乳房炎発症状況

採取時期	粘ちゅう性スコア	該当分房数	乳房炎 発症	
			分房数	割合(%)
分娩前7日以内	3以上	19	0	0.0
分娩前8~10日	3以上	11	4	36.4

表2 乳房炎既往歴と分娩後の乳房炎発症状況

採取時期	粘稠性スコア	乳房炎 既往歴		うち乳房炎 発症	
		有無	分房数	分房数	割合(%)
分娩前7日以内	2以下	有	8	6	75.0
		無	6	1	16.7

### ☆活用面での留意点

乳腺分泌液の粘ちゅう性は、試薬など使用せずに生産者自らが簡単に検査できます。乳腺分泌液を採取する際は衛生的に行います。詳細は、山形県農業総合研究センター畜産試験場（電話 0233-23-8818）にお問い合わせください。

（日本政策金融公庫 農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 田辺 忍）